

## B-24 家庭用脱水機並びに乾燥機の性能に関する研究 (第4報)

三重大教育 薄田 京子

1. 本研究は脱水機および乾燥機の性能を、その脱水および乾燥の効果と、乾燥むら、電力消費量、およびしわその他の乾燥による繊維の損傷などの角度から捕えようとするもので、本報では、外国製タンブラー型1種を対象として、その乾燥の効果と乾燥むらを測定した。

2. 使用機器は米国 Westinghouse 社の Clothes Dryer (単相3線式, 220 V, 60 サイクル, 30 A) である。繊維試料は綿織物2種, レーヨン2種, ポリエステル3種, ベンベルグ樹脂加工布, アセテート, ビニロン, ナイロン, アクリル各1種, 計12点を用いた。

3. (1) 各種繊維の脱水および乾燥による絞り度の多少は、繊維の吸湿量にほぼ平行する。乾燥所要時間は繊維の種類と加熱条件および負荷量により異なるが、負荷量1.4kgの場合、セルローズ系繊維は Reg. (220V, 5A, 最高温 71°C で10分, wash'n wear (220V, 15.5 A) で15~25分, no heat (220V, 5.5 A) で50~90分を要する。合繊は乾燥所要時間が極めて短く、負荷量1.4kgの場合, Reg. で3~5分, wash'n wear で5~10分, no heat で15~40分である。

(2) 負荷量の増加に伴う乾燥時間のおくれは一般に少ない。

(3) 乾燥むらは、国産の他機種に比べて極めて僅かである。